

様式1号  
(総括票)

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	コトヒラ工業株式会社							
代表者名	氏名	手塚 久仁彦	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	長野県東御市滋野乙1320							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	2445 建築用金属製品製造業						
主たる事業の概要	ユニットバス用壁・天井パネルの製造 産業用機械装置の製造組立							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	1883	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	20	台

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	~	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

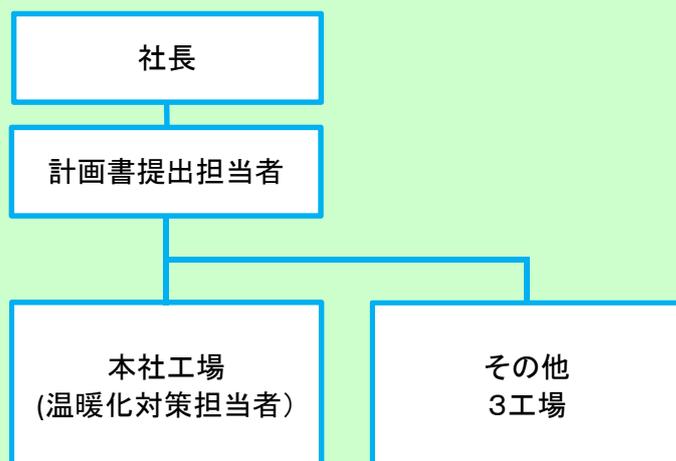
<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	会社情報の「社会・環境活動（CSR）」にて公開 <a href="http://www.kotohira.biz/company/society.html">http://www.kotohira.biz/company/society.html</a>
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号  
(総括票)

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

エネルギー使用の効率化を進め、目標年度（平成28年度）に基準年度（平成25年度）売上高原単位の3%削減を目指す。

#### 5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	4,341	t-CO <sub>2</sub>	売上高	116	単位	億円	
25年度	調整後排出量	3,427	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	37.45	t-CO <sub>2</sub> /	億円	
目標年度	目標排出量	4,211	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	36.33	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた目標削減率
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	<p>エネルギー使用の効率化を進め、目標年度（平成28年度）に基準年度（平成25年度）売上高原単位の3%削減を目指す。</p> <p>H27.6.31 使用エネルギー量の修正(不要エネルギーを計上していた為)に伴い基準排出量、目標排出量を修正</p>							事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する（以下同じ）。
第一年度	排出量	3,723	t-CO <sub>2</sub>	売上高	109.84	単位	億円	
	調整後排出量	3,701	t-CO <sub>2</sub>	原単位	33.89	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた目標削減率
26年度	削減率	14.23	%	削減率	9.50	%		
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年4月から工場内の水銀灯（約1400灯）のLED化工事を開始。1灯当たりの電力を約1/4に削減したため。</li> <li>空調の使用期間の短縮</li> <li>約1ヶ月分の使用期間の短縮。</li> </ul>							
第二年度	排出量	3,307	t-CO <sub>2</sub>	売上高	99.29	単位	億円	
	調整後排出量	3,293	t-CO <sub>2</sub>	原単位	33.31	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた目標削減率
27年度	削減率	23.81	%	削減率	11.05	%		
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年4月からの工場内水銀灯（約750灯）のLED化工事完了。</li> <li>空調の使用期間の短縮(継続)</li> <li>約1ヶ月分の使用期間の短縮。</li> <li>佐久工場の売上高増加により削減率が増加</li> <li>佐久工場原単位の基準年度からの削減率66%</li> <li>(本社工場原単位の基準年度からの削減率0.48%)</li> </ul>							
第三年度	排出量	3,891	t-CO <sub>2</sub>	売上高	107.21	単位	億円	
	調整後排出量	3,535	t-CO <sub>2</sub>	原単位	36.29	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた目標削減率
28年度	削減率	10.36	%	削減率	3.09	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標である売上高原単位の3%削減を達成。(削減率4.67%)</li> <li>計画年度に空調の使用期間の短縮や運転管理等を啓発することで、社員の省エネ意識が定着しムダなエネルギーの使用が抑えられた。</li> <li>水銀灯のLED化(全建屋)と、蛍光灯のLED化(主要作業場・事務所)をしたことによる省エネ効果も大きく貢献した。</li> </ul>							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	75	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
26年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
27年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
、	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
、	-	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	330201 空調使用期間と運転時間の設定	26	75.9	26	75.9
2	エネ起	330208 空調のエアフィルタ等の清掃	26	34.1	26	34.1
3	エネ起	360703 コンプレッサ-台数制御の改善	26	43.0		
4	エネ起	380752 LEDの導入	26~	215.0	26~28	215.0
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	200	50	250	250	250

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	914		22	14	21
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式 1 号  
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kl以上								
1,500kl以上 3,000kl未満	1	3,546						
1,500kl未満	3	795	4	3,723	4	3,307	4	3,891
合計	4	4,341	4	3,723	4	3,307	4	3,891

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1 3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他	4	6	8	8
合計	4	6	8	8
自動車総数	19	19	20	20
次世代車導入割合	21.1	31.6	40	40

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	該当せず
その他	該当せず

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	近距離で可能な方への推奨 マイカー通勤率 95.0%
公共交通機関の利用促進	立地上、困難
来客者の交通対策	該当せず
物流の合理化	同一目的地へ、他社製品と共同運送

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001認証取得	2000年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	花いっぱいコンクール(東御市主催)への参加 駐車場のり面の芝生化
第一年度実績	花いっぱいコンクール(東御市主催)への参加 駐車場のり面の芝生化
第二年度実績	花いっぱいコンクール(東御市主催)への参加 駐車場のり面の芝生化(継続)
第三年度実績	花いっぱいコンクール(東御市主催)への参加 駐車場のり面の芝生化(継続)

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	平成23年度 蛍光灯(36W×2)をLED(25W×2)に変更(114台) 平成24年度 マルチハロゲン灯(300W)をLED90Wに交換(19灯)	12.3
その他	なし	